

Lesson

「天体観測」

BUMP OF CHICKEN

……で大発見！

前編

極意 41

乗車率200%型
2文字@1音〈Wスタック〉の術

……密デス効果

| 作詞 | 藤原基央 | 作曲 | 藤原基央 | 編曲 | BUMP OF CHICKEN

| 発売 | 2001年3月14日

| 備考 | TVドラマ『天体観測』挿入歌 (出演：伊藤英明、坂口憲二、オダギリジョー、小雪、ほか)、
docomo CMソング (出演：松坂桃李)

新たな潮流を感じさせたバンド

本章では〈音符におけるエネルギー〉について深掘りしてみたい。教材はBUMP OF CHICKENの「天体観測」。今もって世代を超えて根強い支持を誇るバンドの代表曲にして超人気曲である。

BUMP OF CHICKEN……通称〈バンブ〉。

このバンドは世の中の若者に対して、具体的な数値に表せないほどのすさまじい影響を与えたと言ってよい。多くの〈次世代ロック少年〉を生み出し、音楽の道志すきっかけや夢を与えられた若者も少なくない。RADWIMPSや米津玄師たちもその中の一人である。

悩める青春期に、優しい視点を持つ物語性と死生観/孤独感が絡み合ったその独創的で繊細な歌詞の世界から〈光〉と〈希望〉と〈勇気〉を授かり、大いに救われたというリスナーもたくさんに在るに違いない。

この曲は、2001年にBUMP OF CHICKENの2枚目のシングルとしてリリースされ、翌年2002年には、この曲から着想を得たとされるテレビ・ドラマ『天体観測』（関西テレビ/フジテレビ系）が制作された。新人バンドの曲が短期間にこれほどまで大きくメディア・ミックス的に発展していくこと自体、とても珍しい。同ドラマではもちろんこの「天体観測」が挿入歌として起用され、大きな話題となり、さらなるヒットに結びついた。2013年にはdocomoのCMソングにも起用された。

個人的には、荒々しい重層的なギターフレーズと、4つ打ちのキック（バスドラム）を基調とした16ビートの疾走感のあるバンド・アレンジに心を奪われ、極限までマイクに近づいた形で録音されたであろうボーカル（藤原基央氏）の声の佇まいがとても内証的であったと同時に強靱な意志を感じさせ、従来のロック・ミュージシャンの〈派手/パワフル/扇動的〉というイメージとは一線を画しているその彼らの姿に、来るべき日本のロック・バンドの新たな潮流の予兆を感じていたのだった。

さて、2001年とはどんな年だったのか。

- ・ユニバーサル・スタジオ・ジャパン開園
- ・東京ディズニーシー開園
- ・アップルが〈iPod〉を発売
- ・JR東日本がICカード〈Suica〉のサービス開始
- ・札幌ドーム完成
- ・アニメ映画『千と千尋の神隠し』が大ヒット
- ・アメリカ同時多発テロ事件が発生

テーマ・パークのオープン、新たなデバイスやサービスの導入などなど。なにやら明るい未来へと開けてゆく〈うごめき〉を感じられる。

子供の頃に描いていた2001年のイメージは、名作映画『2001年宇宙の旅』に代表されるような、はるか彼方の遠い未来の〈非現実的世界〉であり、もしかしたら空飛ぶ車や宇宙旅行などが現実になっているのかな……などと夢見ていたものであるが、実際の2001年は、そこに劇的な変化が待ち受けていることもなく、子供の頃から脈々とつづく日常の積み重ねの延長線上に想像の範囲内で存在していた。

とはいえ個人的には、2001年よりも前年の2000年のほうが印象深い。

西暦2000年は〈ミレニアム/千年紀〉という1000年に一度の大きな節目ということもあり、1999年の年末のカウントダウン・イベントの過剰な盛り上がりやくミレニアム婚 などという流行現象に世間は大いに沸き立ち、活況を呈していたように記憶している。

さて〈この曲といえばココ!〉、アナタはどのフレーズを示すだろうか？

やはりサビ冒頭…… どうあがいても、これだけは譲れない! (歌詞④)

このフレーズ、口ずさむだけで心が浄化される。あふれ出る救済感とでも言おうか。歌詞とメロディの強固な信頼関係によって構築され、さまざまな旨味成分を蓄えている名曲……早速、分析してみることにしよう。

名将〈藤原氏〉の戦略

譜例①をご覧ください。

サビ部分、おわかりいただけるように〈1～2小節目〉と〈3～4小節目〉は同じ音型、つまり〈単純反復/味変〉である。

歌詞④ 「天体観測」といえば、このフレーズ

見えないモノを見ようとして 望遠鏡を覗き込んだ〜♪

譜例① 「天体観測」のサビ部分……Key = Cメジャーで記譜 (原曲はD^bメジャー)

C/G Am7 C/E

みえないモノを見ようとして ぼうえんぎょうをのぞきこんだ

単純反復 / 味変

では、ここで質問。

【問】

〈サビ1小節目/3小節目〉グループと
〈サビ2小節目/4小節目〉グループの
メロディと歌詞の《関係性》における違いを述べよ

メロディと歌詞の関係性？

つまり〈歌詞の乗せ方〉の違いを示せ……というコトか？

歌詞⑧ならびに譜例②で考察してみよう。

なるほどなるほど、答えが出た！

基本的にサビ1小節目&3小節目が〈ひとつの音符=1文字〉であるのに対し、サビ2小節目&4小節目は〈ひとつの音符=2文字〉となっている。つまり定員オーバーの状態……これはまさに《密》!!

この《2文字@1音》のギュッと詰まった感じに、なんともいえない力強さと魅力を覚えてしまう。〈密〉を避けなければいけない社会情勢下の今(2020年現在)、いつにも増して〈密集/密接/密閉〉的な状況に惹かれてしまっている自分がある。

〈密〉には何か特別な効能があるのだろうか？ 検証してみるしかない。

歌詞の載せ方が生む〈キャッチーさ〉

ここで、またしても実験コーナー。

例えば、2小節目の[とし]部分を譜例③のように《1文字@1音》で歌ってみたらどう感じるだろうか？ 各自、脳内で再生していただきたい。

むむむ……なんだか間延びした〈ゆる~い感じ〉がする。

同じように、4小節目の[ぞき]と[こん]を譜例④のように《1文字@1音》で歌ってみるとどうだろうか？

ふむふむ、これも間延びする。

やはり[とし][こん]のように《2文字@1音》のほうがしっくりくる。実際に歌ってみるとわかるが、圧倒的にノリの良さ&心地よさを感じる。そしてなにより〈感情〉を乗せやすい。

これはつまり、1音に〈2文字〉を詰め込んで凝縮させることで《高密度エネルギー》が発生し → 語感が良くなり&スピード感が増して → 聴き手に対する《訴えかけ》が出現する……というコトであろう。

〈2文字@1音〉による効能

《高密度エネルギー》の発生
《語感》が良くなる
《スピード感》が増す
《訴えかけ》の出現

☞

インパクト
キャッチー
美味しい

……というワケで、多くの〈裏付け〉が出そろった。

2文字@1音、これは明らかな旨味成分、いわば美味しい〈蜜〉である！

心得 ▶ 2文字@1音 ☞ 旨味成分 ☞ 〈蜜〉は〈蜜〉

歌詞の〈乗せ方〉次第で、メロディの印象は変わる。〈2文字@1音〉をうまく使うことで、〈キャッチー度〉が一気に増幅される場合がある。

これは大発見だ!!!!

いや、筆がすべった。大発見などではない……昔からあった(汗)。

極私的な音楽体験から鑑みると、サザンオールスターズの桑田圭祐さんが日本語を英語的に発音するという巻舌唱法とのセットで積極的にこの《2文字@1音》を発信し、さらに岡村靖幸さんがブラック・ミュージックのノリに合わせる形で時代の三歩先に行く刺激のかつ斬新なスタイルで独自に発展させ、それらを受けてMr.Childrenの桜井和寿さんが幅広い層に届くように拡散させた……という印象がある(……あくまでも私感です)。

しかし、今となっては多くのミュージシャンがごく当たり前のように使っているこの手法、よくよく考えてみると〈確たる名称〉が与えられていない可哀想な存在である。

というワケなので、この機会に便乗して、ちゃっかりと命名してしまおう。

その名も、ちよいとカッコつけて……ジャカジャン！

極意 41

乗車率200%型
2文字@1音〈Wスタック〉の術

……密デス効果

乗車率 200% = 音符の高密度化

Wスタック (ダブルスタック/double stack) とは《二段重ね》という意味である。1つの音符に〈文字を二段重ね〉させることで、その音符に〈圧〉を与えて《高密度化》させる……そんなイメージ。

📌 音符の高密度化

高密度化された音符には〈強いエネルギー/訴えかけ/スピード感〉という旨味成分が凝縮されることになる。

2文字 @ 1音 (Wスタック) の術 (乗車率 200%型)

2文字 × 1音 = 音符の高密度化

[強いエネルギー/訴えかけ/スピード感など]

ただしこの手法、どんな場合にも適用できるというわけではない。メロディや歌詞の乗せ方によっては、ダサく聴こえてしまい失敗する恐れがあるので、しっかりと吟味し、試行錯誤を重ねた上でご使用いただきたい。

心得 ▶ 〈促音・撥音・拗音・長音〉などは
比較的使用しやすい

	促音	撥音	拗音	長音
	[●っ]	[●ん]	[●ゃ]	[●～]
例	[しっ]	[しん]	[しゃ]	[し～]
例	[びっ]	[びん]	[びゃ]	[び～]

さて、この時点でピンときたあなたは、最高の読者である (もちろん、ピンとこなかったあなたも最高の読者である)。

もしかして、あの人のあの曲も《Wスタック》だったのではないかと……と。

そう、槇原敬之さんの「どんなときも。」!

「どんなときも。」で展開されているのは、比較的オーソドックスな《Wスタック》である。

サビ冒頭の歌い出し〈どん〉は、1音に対して〈2つの文字〉が割り当てられている《2文字@1音》、つまり乗車率200%型(歌詞©)。

ご記憶にもあるように、P21でこの曲のサビのメロディに異なる言葉(文字)を当てはめる実験を試みた。しかし、やはりしっくりこなかった。

つまり、あの〈どん〉の箇所は《Wスタック》がハマりすぎていて、それを超える言葉のパートナーを探し出せなかった……というコト。

これぞまさに《メロディと歌詞の幸福な結婚生活》のお手本である。

そして、その結婚生活の裏に《Wスタック》の存在あり……。

181ページの時を経て暴かれた〈新事実〉……!?

心得 ▶ メロディと歌詞の〈幸福な結婚生活〉

- 【1】 聴いていて気持ちが良い
- 【2】 歌っていて気持ちが良い
- 【3】 覚えやすい/覚えたくなる

〈詞先〉で実践してみる

この《Wスタック》、なにも〈1音=2文字〉のルールを遵守する必要はない。場合によっては《トリプルスタック》=《3文字@1音》などのバリエーションも考えられる。(=通称3密)

せっかくなので、例を示すべく〈詞先〉で実践してみよう。

例えば、次のような歌詞があったとする。

☞ 愛してる 恋してる

「この歌詞にキャッチーなメロディをつけよ!」と指令が下った場合、アナタはどう攻めるだろうか? どのようなタイプの曲調にするかによって〈譜割の着想〉はまったく異なってくるのだが、私なりに即興で、譜例⑤⑥⑦の3タイプのメロディを作ってみた(本書限定オリジナル書き下ろし即興作品!?)。

実際に歌ってみていただきたい。

歌詞◎ 「どんときも。」のサビ冒頭における《Wスタック》
作詞：横原敬之／作曲：横原敬之



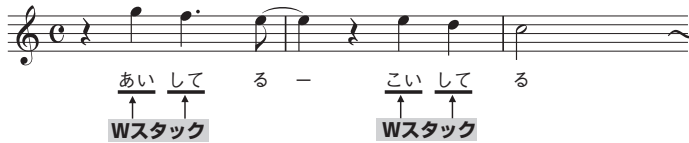
♪ ♪ ♪ ♪ ♪
ど ん な と き も
↑
(乗車率 200%)

譜例⑤ ノーマル／乗車率100%型



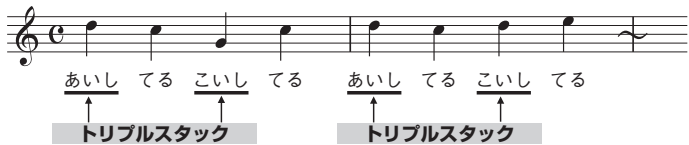
あ い し て る - こ い し て る -

譜例⑥ Wスタック／乗車率200%型



あ い し て る - こ い し て る
↑ ↑ ↑ ↑
Wスタック Wスタック

譜例⑦ トリプルスタック (通称3密)／乗車率300%型



あ い し て る こ い し て る あ い し て る こ い し て る
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑
トリプルスタック トリプルスタック

いかがだろうか？

音符への対峙方法（歌詞の乗せ方/ハメ方）によって、印象はガラリと変わるものの、譜例⑤⑥⑦のいずれのメロディも悪くはない。あとはTPOに合わせた選択をすればよいだけの話……。

メロディと歌詞の幸福な結婚生活……。

相手が同じでも、どう向き合うかで〈幸せのカタチ〉は異なるようだ。

心得 相手が同じでも、どう向き合うかで
〈幸せのカタチ〉は異なる

ちなみに……岡村靖幸さんの超弩級名盤『家庭教師』（1990年）は、メロディに対する歌詞の乗せ方の妙技&奥義を得られる刺激的な教典となるはずである。

ご一聴あれ！

《Wスタック》を探せ！

さて、この項の最後に「天体観測」のサビにおけるすべての《Wスタック》を歌詞◎に示しておこう。

動画サイトやサブスクの音源と共にご確認ください、メロディと言葉のマッチングの心地よさを存分に味わっていただきたい。

きっとあなたは、蜜デス効果（密＝蜜）の虜になるに違いない……。

歌詞⑩ 「天体観測」サビにおける《Wスタック》のすべて

1 サビ前半	みえないモノをみ	よう	とし	て
	ぼうえんきょうをの	ぞき	こん	だ
1 サビ後半	あいたがぼくらを	よん	だっ	て
	へんじもろくにし	な	かっ	た
2 サビ前半	しらないモノをし	ろう	とし	て
	ぼうえんきょうをの	ぞき	こん	だ
2 サビ後半	そうしてしったい	た	み	を
	いまだにぼくはお	ぼえ	てい	る
3 サビ前半	みえてるモノをみ	お	とし	て
	ぼうえんきょうをま	たか	つい	で
3 サビ後半	そうしてしったい	た	み	が
	いまだにぼくをさ	さえ	てい	る
4 サビ前半	もういちどきみにあ	おう	とし	て
	ぼうえんきょうをま	たか	つい	で
4 サビ後半	はじめようかてん	たい	かん	そく
	にふんごにきみがこ	なく	と	も